# XL-C3200　設置ガイド

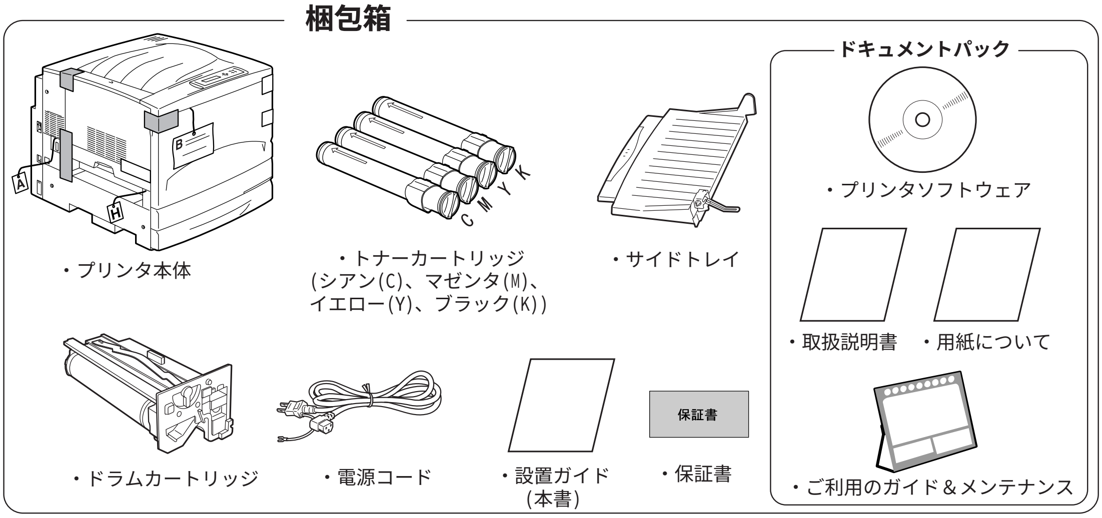
このたびは、カラーページプリンタ XL-C3200 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご購入されたプリンタを梱包箱から取り出し、使用できるようにするまでの設定を説明しています。
詳細は、取扱説明書「第 1 章 お使いになる前に」～「第 4 章 プリンタドライバのインストール」を参照してください。

2002年6月　初版発行
富士通株式会社

## 製品を確認する

製品を梱包箱や袋から取り出し、すべて揃っていることを確認してください。
万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

ガイド
- プリンタケーブル、プリンタ USB ケーブル、プリンタ LAN ケーブル、用紙は含まれておりません。別途、お買い求めください。
- 移転などでプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサや箱を保管しておいてください。



# 設置場所を決定する

次の点に気をつけて、プリンタの設置場所を決めてください。

## ◆設置に適した場所

⚠注意

**ケ　ガ　プリンタは、重さ69kg（消耗品を除く）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。プリンタの転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。**

・水平で安定した場所
・風通しがよい場所
・温度 10℃～ 32℃　湿度 15 ～ 85%（結露がないこと）
　ただし、温度が32℃のときは湿度65%以下、湿度が85%のときは温度28℃以下でお使いください。

## ◆設置に適さない場所

・直射日光が当たる場所
・冷暖房器具に近い場所
・風が直接当たる場所
・振動がある場所
・ホコリやチリが多い場所
・火気に近い場所
・水気がある場所
・磁力の影響がある場所
・温度／湿度の変化が激しい場所

## ◆電源コンセント、アースについて

1つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や、電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧低下によるパソコンの誤動作、データ消失のおそれがあります。

⚠警告

**感 電**
- **電源プラグは、定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8Aとなっています。**
- **万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。**
  - **電源コンセントのアース端子**
  - **銅片などを650㎜以上地中に埋めたもの**
  - **接地工事（D種）を行っている接地端子**

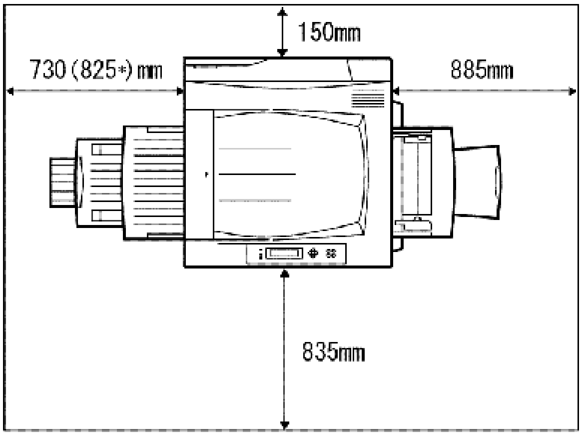
## ◆超音波加湿器のご使用について

超音波加湿器に水道水や井戸水を使用すると、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着してプリント画質低下の原因になります。超音波加湿器をご使用になる場合は、不純物を含まない水をご使用ください。

## ◆設置スペースについて

**⚠警告**

**感　電**　**プリンタの側面および背面には通気口があります。プリンタは壁から150㎜以上離して設置してください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。**
**また、プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、本製品を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。**
**＊（　）内は、オプションの両面ユニットを取り付けた場合です。**



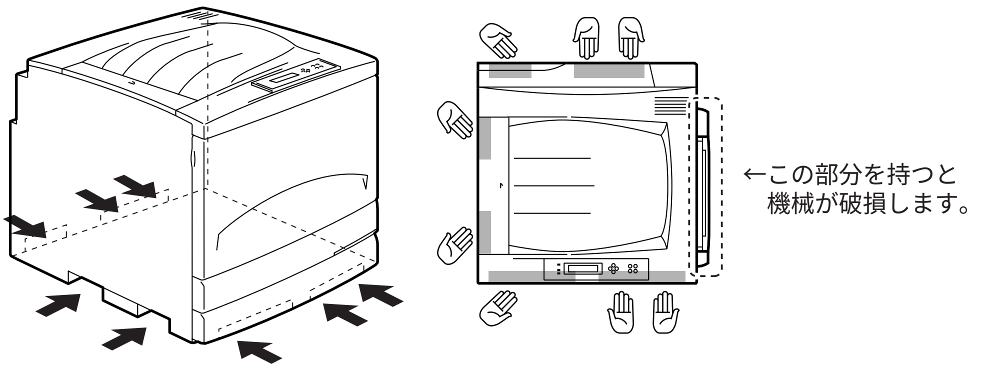

**プリンタ本体のサイズ(幅×奥行×高さ)**
**650×647×556㎜**

# プリンタを設置する

プリンタを設置場所に移動してください。
プリンタを持ち上げるときは、本体正面に向かって前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。

お願い

**・本製品は正面側に比べ、背面側が重くなっています。持ち上げるときは、このことを考慮して作業してください。**



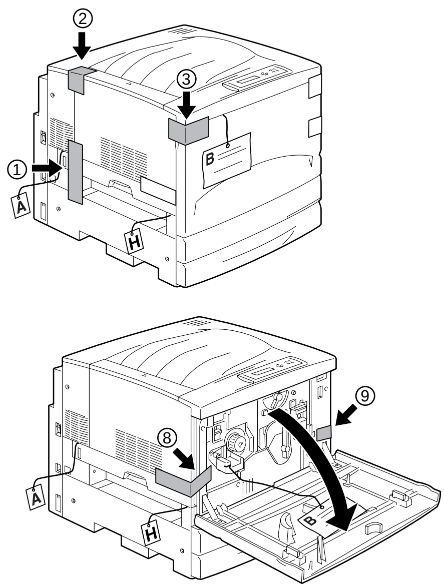

**⚠注意**

**ケ　ガ　本製品の重さは、消耗品、用紙トレイを取り付けた状態で71kgです。プリンタを持ち運ぶ場合は、必ず4人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、本体正面に向かって前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。このくぼみ以外を持って持ち上げることは、絶対にしないでください。落下によるケガの原因となる恐れがあります。**

# テープとスペーサを取り外す

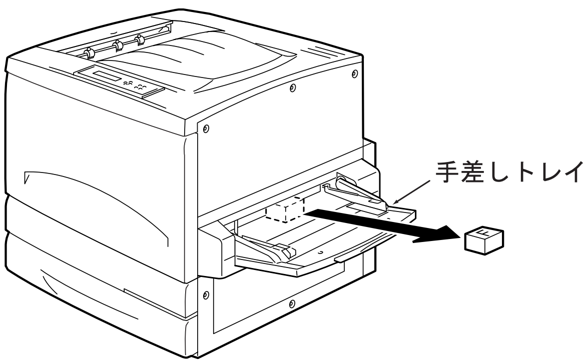
## ◆テープを取り外す

箱から取り出したプリンタは、プリンタ本体およびフロントカバー内部の合計9ヶ所がテープで留められています。プリンタを使用する前にすべてのテープをはがしてください。



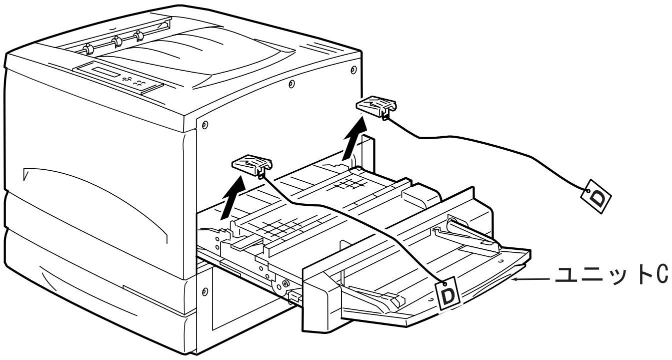

## ◆手差しトレイのスペーサを取り外す

手差しトレイを開いて、図の位置にあるスペーサ（Fと書かれています）を取り出します。



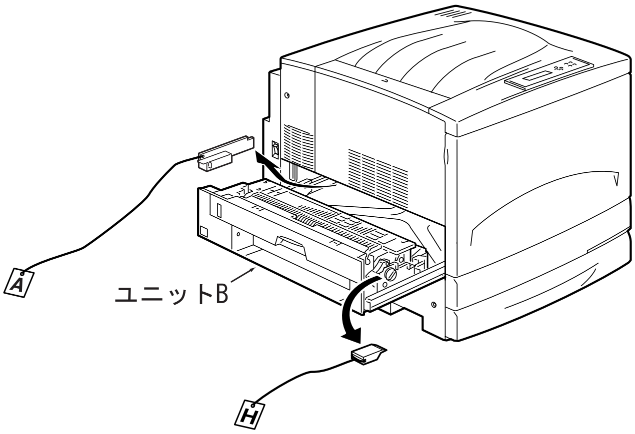
## ◆ユニットCのスペーサを取り外す

ユニットCを止まるまでゆっくりと引き出し、オレンジ色のスペーサ（Dと書かれたタグがついています）を、スペーサについている紐を引いて取り出します。



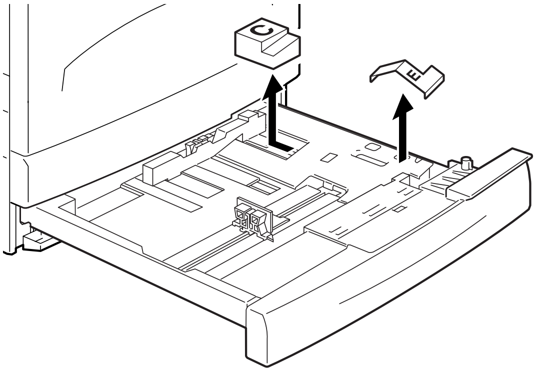

## ◆ユニットBのスペーサを取り外す

ユニットBを止まるまで引き出し、図の位置にあるスペーサ（A、Hと書かれたタグがついています）を、スペーサについている紐を引いて取り外します。



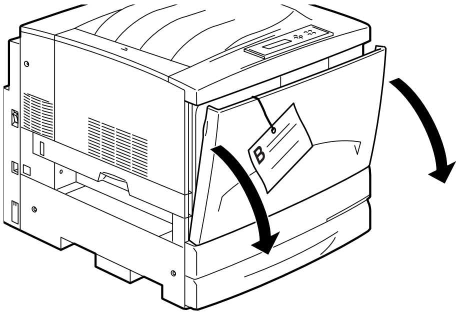
## ◆用紙トレイのスペーサを取り外す

用紙トレイを止まるまで手前に引き出し、用紙ガイドを奥へずらした後、用紙トレイにあるスペーサ（C、E と書かれています）を取り外します。

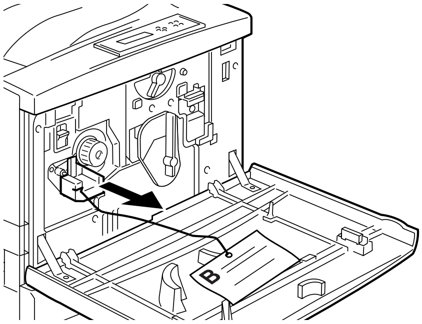



## ◆トナーカートリッジ取り付け口のスペーサとトナーカバーを取り外す

**① フロントカバーを開く**




**② 図の位置にある回転止めスペーサ（B と書かれたタグが付いています）を引き抜いて外す**

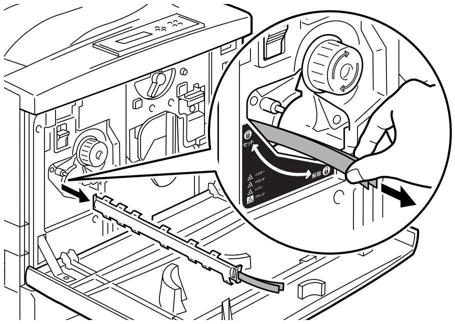






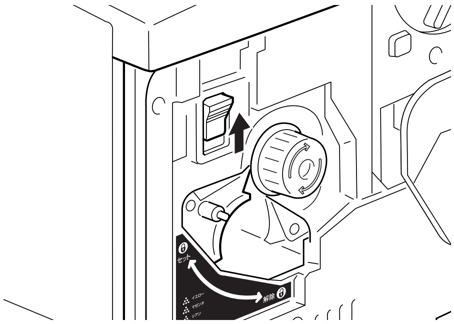
移転などでプリンタを移動する可能性がある場合は、このスペーサを保管しておいてください。

③　**トナーカートリッジ取り付け口にあるトナーカバーを、先端の取っ手(Gと書かれています)を引っ張って外す**

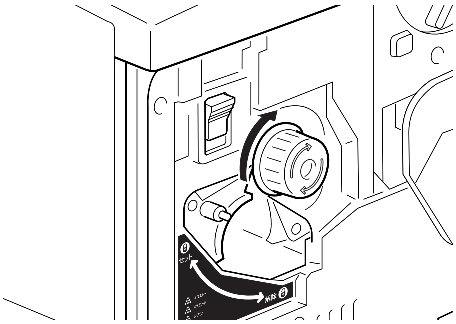


**ガイド**　トナーカバーは、4つのトナーカートリッジ取り付け口にそれぞれ取り付けられています。手順④～⑥を繰り返し、残りの3個も取り外します。

④　**回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す**

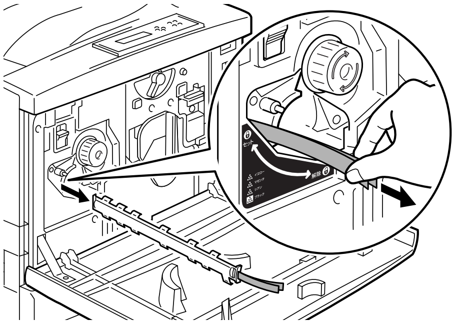


⑤　**ノブを矢印の方向に止まるまで回し、次のカートリッジを取り付け口に移動させる**



**ガイド**　ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

### ⑥　正面に移動してきたトナーカバーを、先端の取っ手を引っ張って外す



### ⑦　手順④〜⑥の操作を繰り返す

4 個のトナーカバーがすべて取り外されていることを確認してください。

### ⑧　フロントカバーを閉じる

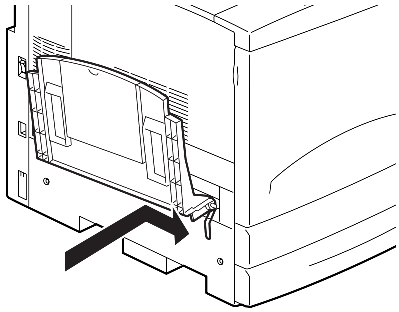
# オプション品を取り付ける

オプション品の拡張給紙ユニットや両面ユニットを購入している場合は、ここでプリンタに取り付けます。取り付けかたは、オプション品添付の取扱説明書を参照してください。

# サイドトレイを取り付ける

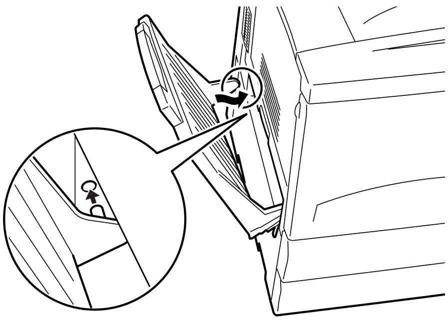
① **サイドトレイを立てるように持ち、トレイの右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む**

金属部分はプリンタの中に入れず、トレイの下側に出してください。



② **サイドトレイの左側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込む**

サイドトレイの突起部は、破損しやすいので注意してください。



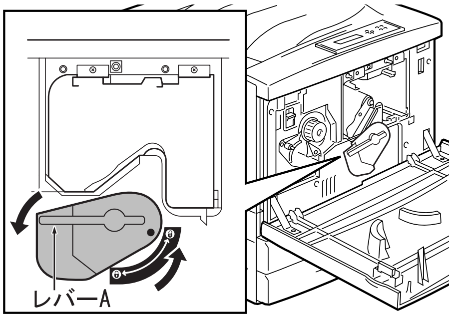
# ドラムカートリッジを取り付ける

**⚠警告**

**やけど　ドラムカートリッジを、火中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。**

① **フロントカバーを開く**

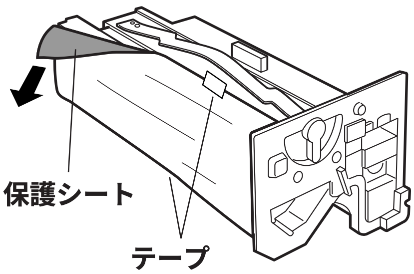
② **オレンジ色のレバーAを図の矢印の方向に回し、〔●〕印を解除位置( )に合わせる**




③ **新しいドラムカートリッジを梱包箱から取り出す**

④ **カートリッジを覆っている保護シートをゆっくりと引っ張ってはがす**

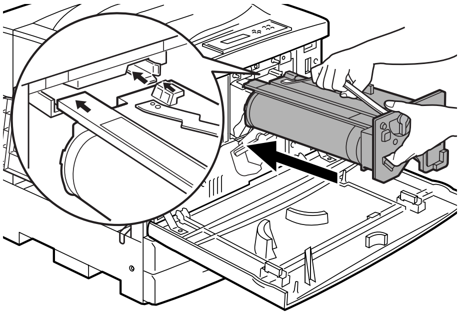
保護シートは、ドラムカートリッジの上下2ヶ所に貼ったテープで止められています。




**お願い**

- **ドラムの表面(青色)は手で触らないでください。ドラムの表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。**
- **保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。**

**⑤　ドラムカートリッジの取っ手を持ち､左右のガイドをプリンタ本体のレールにのせて、プリンタの奥までしっかり押し込む**

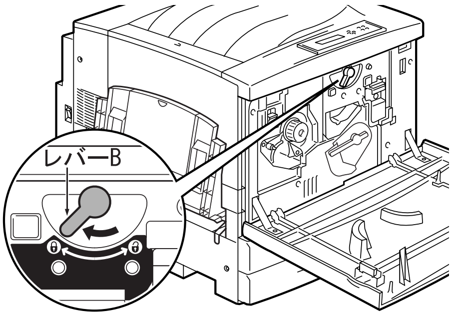


お願い

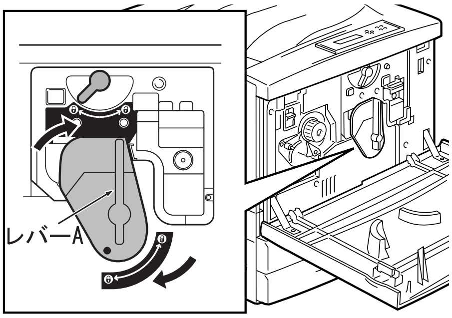
- ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールにのっていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ドラムの表面(青色)が、ほかの部品に接触しないように注意してください。

**⑥　レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置(🔒)に合わせる**

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。




**⑦　レバーAを図の矢印の方向に回し、〔●〕印をセット位置(🔒)に合わせる**




**⑧　フロントカバーを閉じる**

# トナーカートリッジを取り付ける

**⚠警告**

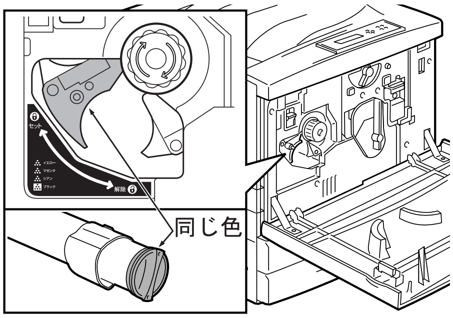
| | |
|---|---|
| やけど | トナーカートリッジを、絶対に火中に投じないでください。<br>粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。。 |

**お願い**

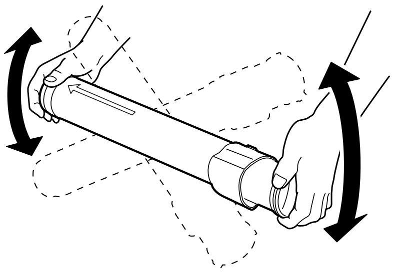
トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたときにはすぐに洗い流してください。

① **フロントカバーを開く**

② **差し込み位置の色と同じ色の新しいトナーカートリッジを梱包箱から取り出す**

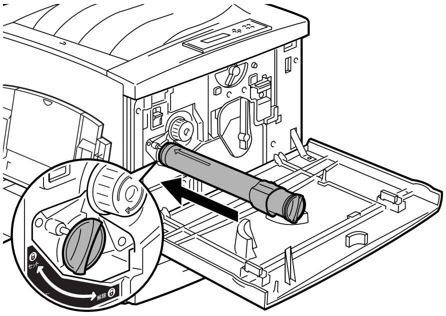



③ **図のように7～8回振り、中のトナーを均一にする**



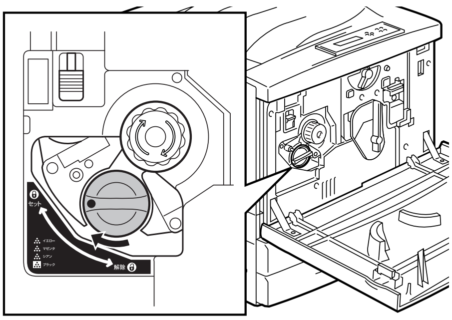
**④　トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、プリンタの奥に突き当たるまでしっかりと差し込む**

トナーカートリッジをしっかり差し込まないで操作すると、故障の原因になります。

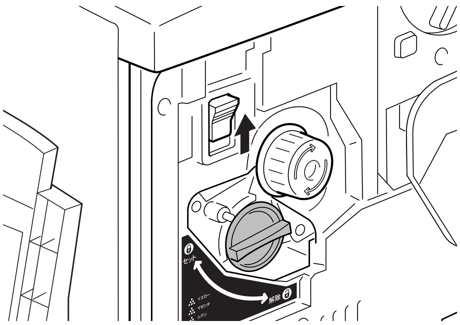


**⑤　トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の〔●〕印をプリンタ側の「セット」(🔒)に合わせる**

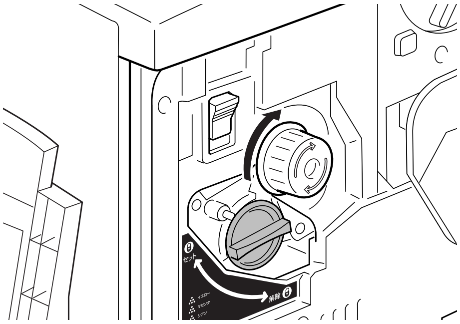
トナーカートリッジを最後までしっかり回さないと、トナーがこぼれることがあります。



**⑥　回転防止スイッチを「カチッ」と音がするまで押し上げ、手を離す**



### ⑦ ノブを図の矢印の方向に止まるまで回し、セットしたトナーカートリッジを移動させる



**ガイド**

- トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。
  ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。
- ノブを回すと、「カチッ」と音がして回転防止スイッチが下がります。

### ⑧ 残りの3つのトナーカートリッジについても同様に、手順①〜⑥の操作を行う

最後のトナーカートリッジについては、手順⑤、⑥は不要です。

### ⑨ フロントカバーを閉じる

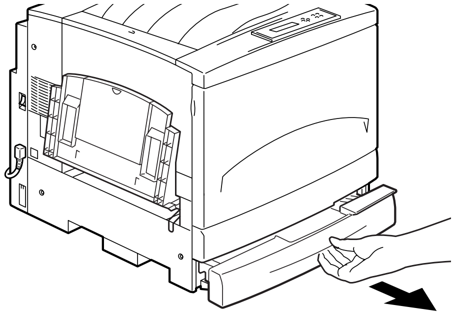
**ガイド**

ドラムカートリッジの取り付け口にある、レバーA、Bが正しいセット位置に合っていないと、フロントカバーを閉じることができません。フロントカバーを閉じることができない場合は、レバーA、Bがセット位置に合っているかどうかを確認してください。

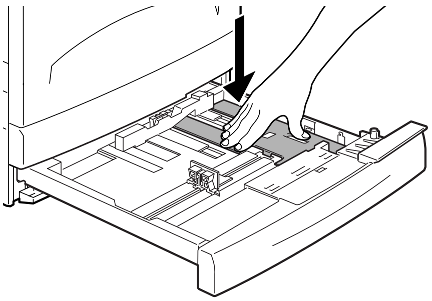
# 用紙をセットする

ここでは、A4 サイズの用紙をセットする場合を例に説明します。

**① 止まるまで用紙トレイを手前に引き出す**

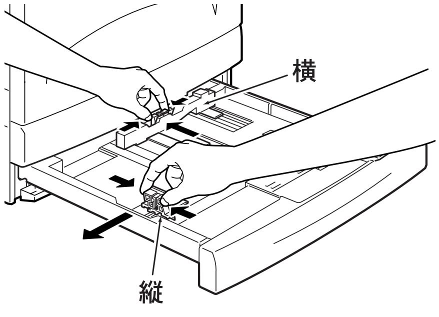


**② 用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないように固定する**

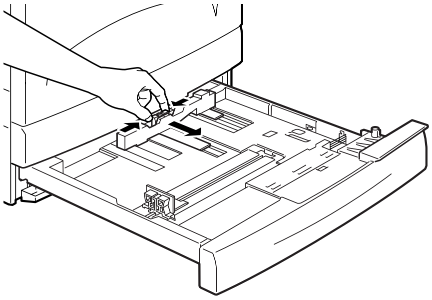


**③ 縦、横の用紙ガイドクリップを指でつまみながら、セットしたい用紙サイズにガイドを合わせる**

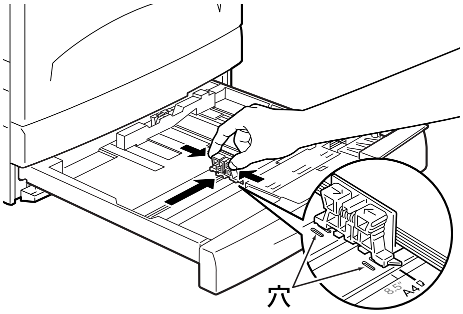
ここでは、A4 サイズに合わせます。



④　横の用紙ガイドをセットしたい紙の幅に合わせる



⑤　縦の用紙ガイドの先端（▽）を用紙サイズ目盛りに合わせる

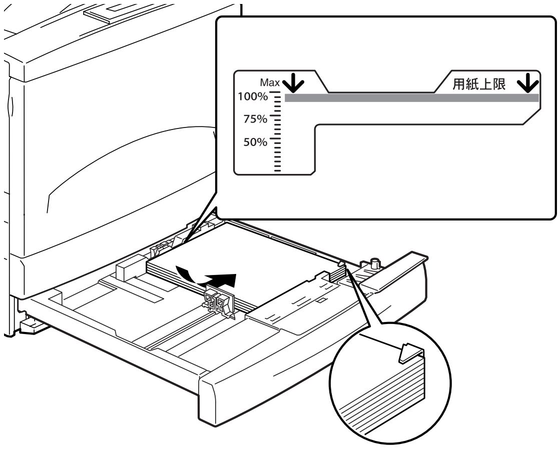



お願い

- 縦の用紙ガイドのストッパが、目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- 縦の用紙ガイドが目盛りに合っていないと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。

## ⑥ 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にしてセットする

右手前側にあるツメの下に用紙をセットします。

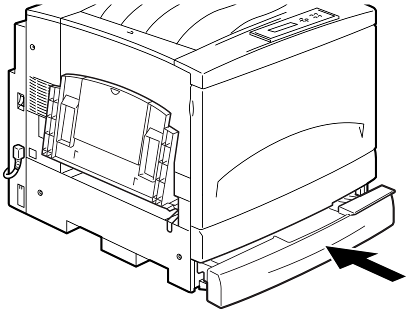



お願い

- 折りめやシワが入った用紙、反りが大きい(カールしている)用紙は使用しないでください。
- 最大収容枚数(用紙上限)を超えて、用紙をセットしないでください。
- 用紙はツメの下にセットし、ツメの上には載せないようにしてください。

## ⑦ 用紙トレイをプリンタの奥までしっかり押し込む

用紙トレイを押し込むときは、強く押し込みすぎないように注意してください。



# 拡張メモリ（オプション）を取り付ける

**⚠警告**

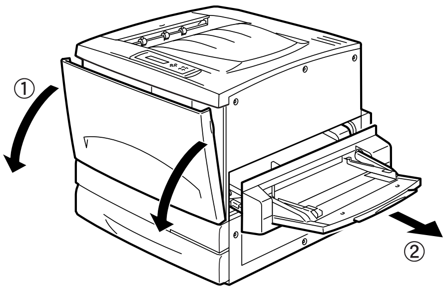
感　電　作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

**お願い**

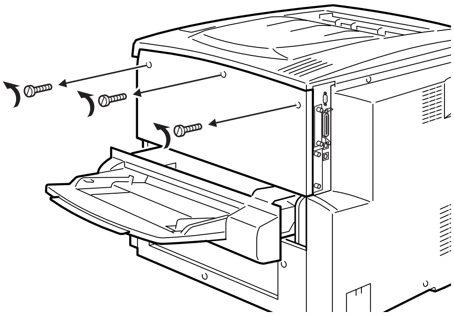
静電気によって拡張メモリが破壊されないように、次の点にご注意ください。
- 本プリンタに取り付ける直前まで、袋から拡張メモリを取り出さないでください。
- 拡張メモリに触れる前に、金属製のもの(ロッカーなど)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- 拡張メモリを持つときは必ず端を持ち、拡張メモリの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。

インタフェース上の電気回路部品には､手を触れないでください。

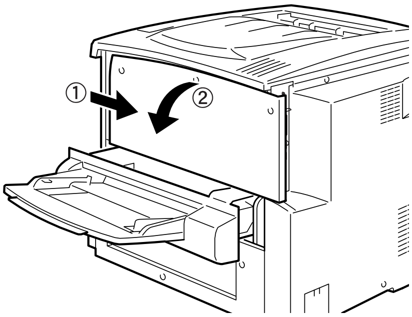
**①　フロントカバーを開け(①)、ユニットCを引き出す(②)**



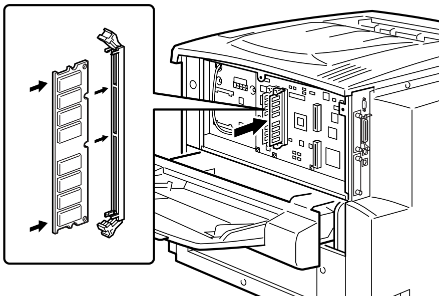

**②　プリンタ本体右側面の右上カバー上にある3本のネジを外す**



③ **右上カバーをプリンタの背面側にずらし(①)、手前に倒して外す(②)**




④ **メモリ用スロットの両端にあるイジェクトレバーを外側に倒す**



⑤ **メモリの両端を持ち、2つの切れめと、スロット側の2つの凸部分を正しく合わせて、まっすぐに差し込む**

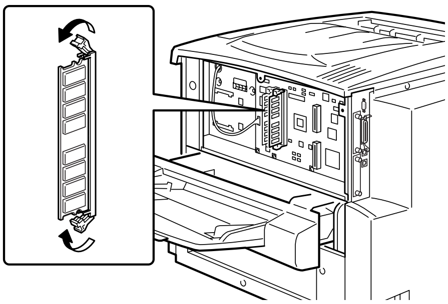
お願い

**基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。**
**また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。**

ガイド

すでに取り付けられているメモリを取り外す場合は、イジェクトレバーを外側に倒したあと、まっすぐに引き抜いてください。

⑥ **メモリをスロットにしっかり差し込み、スロットの両端にあるイジェクトレバーを内側に倒して固定する**



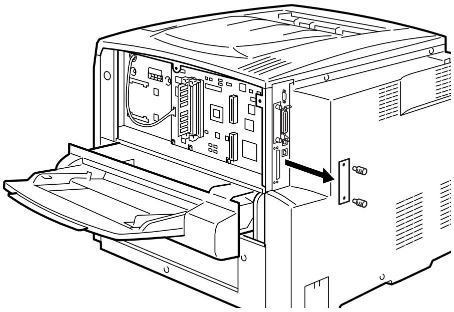
ガイド

続けてプリンタLANカードを取り付けない場合は、「プリンタLANカード(オプション)を取り付ける」手順④に進んでください。

# プリンタ LAN カード(オプション)を取り付ける

① **プリンタ本体背面にあるプリンタ LAN カード用カバー（下側の取り付け口）の 2 本のネジを外す**

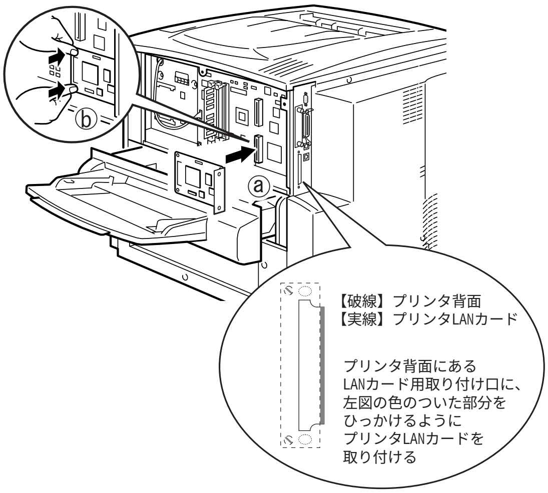
取り外したカバーは、大切に保管しておいてください。



② **プリンタ LAN カードのコネクタを、インタフェースボード側のコネクタに合わせ(ⓐ)、上から押してしっかり差し込む(ⓑ)**

お願い

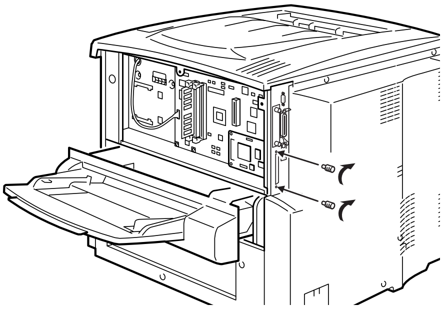
**プリンタ LAN カードは、下側の取り付け口に取り付けてください。上側の取り付け口にプリンタ LAN カード装着した場合は、正常に動作しません。**




⚠注意

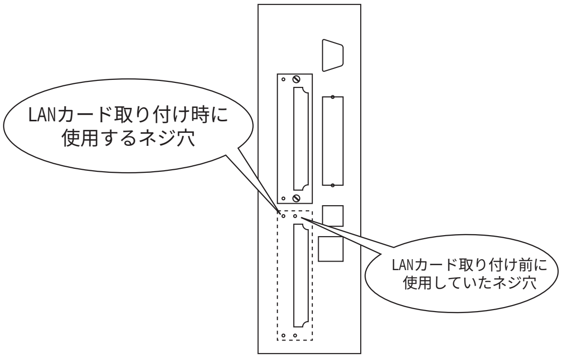
**やけど** 基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。
また、故障の原因になるので、基板には手を触れないでください。

③　手順①で外したネジでプリンタ LAN カードを固定する

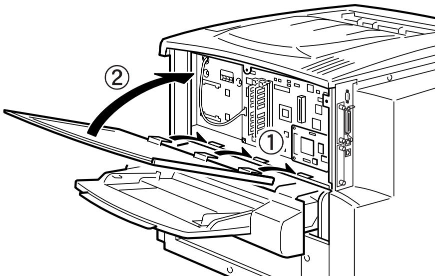


手順①とは異なる穴にネジを取り付けます。下図を参照して取り付けてください。

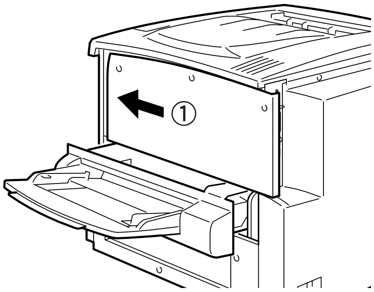
【プリンタ背面】



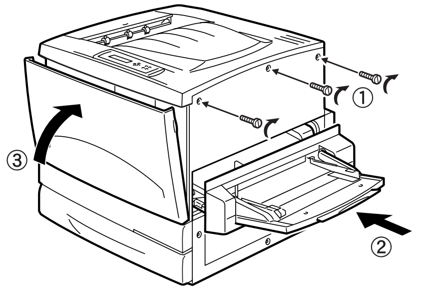

④　右上カバー下側の突起部をプリンタ本体の穴に差し込み(①)、プリンタ本体側に起こす(②)




⑤　右上カバーをプリンタ前面側にずらし(①)、しっかりとはめ込む



⑥ 右上カバーを手順2で外したネジで固定してから(①)、ユニットCをプリンタの奥までしっかりと押し込む(②)




⑦ フロントカバーを閉じる(③)

# ケーブルを接続する

**⚠警告**

**感 電**　**作業の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに作業を行うと、感電の原因となるおそれがあります。**

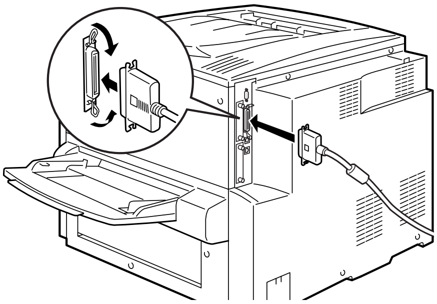
## ◆ローカルプリンタとして使用する場合

ガイド　パラレルインタフェースを使用したホストと接続する場合、弊社別売のプリンタケーブルを使用してください。弊社取り扱いケーブル以外のプリンタケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

### プリンタケーブル

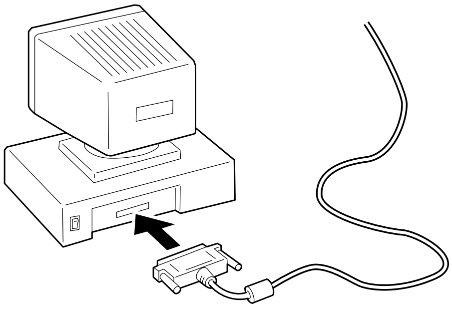
① **プリンタ本体背面のプリンタインタフェースコネクタに、プリンタケーブルを接続する**

ケーブルを差し込み、両端を金具で固定します。



② **プリンタケーブルの他方を、パソコンのプリンタインタフェースコネクタに接続する**

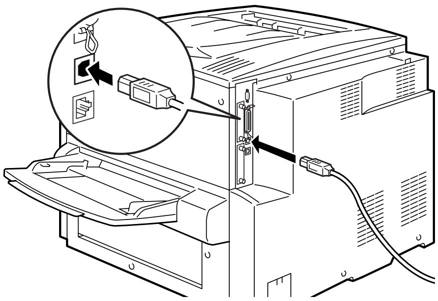
ケーブルを差し込み、両端のネジを締めて固定します。



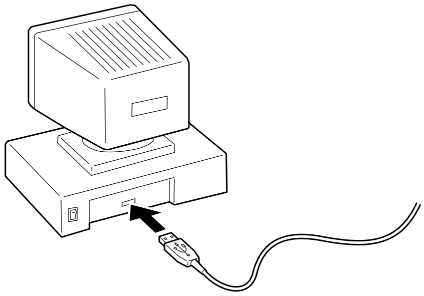
ガイド　パソコンの機種によって、プリンタインタフェースコネクタの位置が異なります。

### USB ケーブル

**① プリンタ本体背面の USB インタフェースコネクタに、プリンタ USB ケーブルを接続する**



**② プリンタ USB ケーブルの他方を、パソコンの USB インタフェースコネクタに接続する**

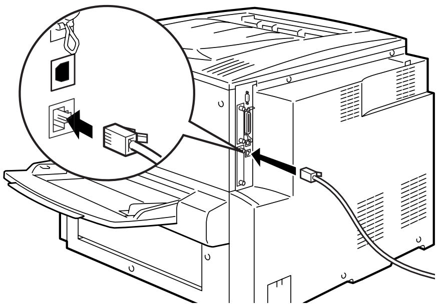


## ◆ネットワークプリンタとして使用する場合

本プリンタをネットワークプリンタとして使用するには、事前にオプションのプリンタ LAN カードを取り付けておく必要があります。
ここではプリンタ LAN ケーブルをプリンタ本体に接続します。

ガイド　100BASE-TX の場合は、カテゴリー 5 のケーブルが必要です。

**① プリンタ本体背面のプリンタ LAN ケーブルコネクタのキャップを外し、プリンタ LAN ケーブルを接続する**

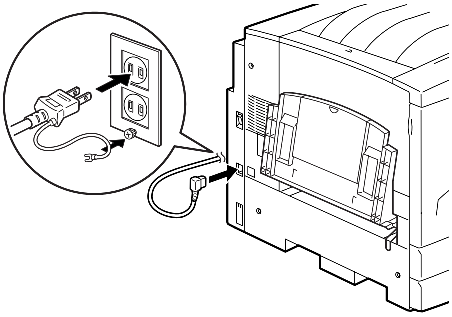


# 電源を入れる

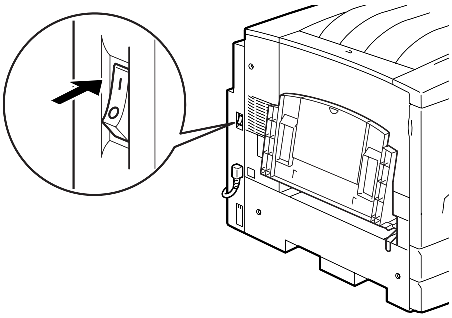
**⚠警告**

| | |
|---|---|
| 感 電 | ・電源プラグは、定格電圧100V、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、8Aとなっています。<br>・万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。<br>- 電源コンセントのアース端子<br>- 銅片などを650㎜以上地中に埋めたもの<br>- 接地工事（D種）を行っている接地端子 |

① **電源コードを、プリンタ本体背面にある電源コードコネクタに差し込む**
**もう片方を電源コンセントに差し込む**
**電源コンセントがアース線に対応している場合は、アースも接続する**

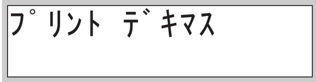


② **プリンタ本体左側面にある電源スイッチの〔I〕側を押し、電源を入れる**



③ **オペレータパネルの液晶ディスプレイに、【シンダンシテイマス】と表示される。この表示が【オマチクダサイ】から【プリント デキマス】に変わり、オンラインランプが点灯することを確認する**

液晶ディスプレイに【オマチクダサイ】と表示されているときは、印刷準備中です。この間は印刷できません。



# プリンタの設定を確認する

プリンタが正しく設置されたかどうかを確認するために、プリンタ設定リストを印刷します。

---

**① A4サイズの用紙が用紙トレイにセットしてあることを確認する**

---

**② 〔オンライン〕スイッチを押す**

```
オフラインチュウデ゛ス

```

**(オフライン状態画面)**

---

**③ 〔メニュー〕スイッチを押す**

次のメッセージが表示されます。

```
メニュー
    1  システムセッテイ
```

**(メニュー画面)**

---

**④ 〔▼〕スイッチを 3 回押す**

次のメッセージが表示されます。

```
メニュー
   4  レホ゜ート/リスト
```

---

**⑤ 〔セット / 排出〕または〔▶〕スイッチを 1 回押す**

```
4  レホ゜ート/リスト
 フ゜リンターセッテイリスト
```

---

**⑥ 〔セット / 排出〕スイッチを 1 回押す**

```
フ゜リンターセッテイリスト
フ゜リント  テ゛キマス
```

---

## ⑦ 〔セット / 排出〕スイッチを 1 回押す

ﾌﾟﾘﾝﾀｰｾｯﾃｲﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾃｲﾏｽ

プリンター設定リストが印刷されます。

**XL-C3200**
**プリンター設定リスト**

**全体**

| | |
|---|---|
| プリント総ページ数 | 41ページ |
| ドラムカウンター | 1249counts |
| 搭載メモリー | 64M byte |
| 搭載プリンター言語 | 200203071443 |
| 搭載フォント数 | 和文 2書体 |
| | 欧文13書体 |
| F/Wバージョン | 200203071619 |
| Bootバージョン | 200202081146 |
| IOTバージョン | 1.10.6 |
| DACSバージョン | 200110221443 |

**ネットワーク**

| | |
|---|---|
| F/Wバージョン | 5.63 |
| Ethernet Address | 08:00:37:0e:f4:0e |
| Ethernet設定 | 10Base-T Half(Auto) |
| TCP/IP設定 | DHCP |
| IPアドレス | 10.171.200.142 |
| サブネットマスク | 255.255.255. 0 |
| ゲートウェイアドレス | 10.171.200. 1 |
| 搭載プロトコル | LPD, IPP, SNMP |
| | E-Mail Service |
| | Internet Services |
| 受信制限 | なし |

**オプション**

| | |
|---|---|
| プリンターLANカード | あり |
| 拡張給紙ユニット | -A(1段) (1.2.1) |
| 両面ユニット | あり(1.3.1) |

**パラレル**

| | |
|---|---|
| ECP | 有効 |

**SNMP**

| | |
|---|---|
| コミュニティー名(R) | public |
| コミュニティー名(RW) | public |
| コミュニティー名(トラップ) | public |
| トラップ通知(IP) | 0. 0. 0. 0 : 0000 |
| 認証エラートラップ | 無効 |

オプション品の情報が
印刷されます。

印刷が終了すると、プリント画面に戻ります。

お願い

**プリンター設定リストが印刷されない場合は、電源を切り、電源を入れ直してください。オペレータパネルの液晶ディスプレイに「プリント デキマス」と表示されたら、再度プリンター設定リストを印刷します。それでも印刷されない場合は、ご購入元、または「ハードウェア修理相談センター ☎ 0120-422-297（フリーダイヤル）」にご連絡ください。**

⑧ 〔メニュー〕スイッチを押す

ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾃﾞｷﾏｽ

印刷されたプリンター設定リストで、オプション品が正しく取り付けられていることを確認します。

拡張メモリを取り付けた場合は、次のように印刷されます。
[全体]：[搭載メモリ 160Mbyte]

# プリンタの環境を設定する

『XL-C3200 取扱説明書』「第３章 外部との接続」(xxx ページ)、『XL-C3200 ネットワークガイド』「第１章 ネットワークプリンタの設定」を参照して、必要な設定を行ってください。
環境設定が終了したら『XL-C3200 取扱説明書』「第４章 プリンタドライバのインストール」(xxx ページ)を参照して、各クライアントにプリンタドライバをインストールしてください。

# プリンタドライバで設定する

オプション品を取り付けた場合は、プリンタを使用するパソコンで、プリンタドライバの設定を変更してください。

ガイド

- プリンタドライバのインストールが済んでいない場合は、まずプリンタドライバをインストールしてください。
- パソコンの OS によって、手順が異なる場合があります。各プリンタドライバでの設定手順は、XL-C3200 取扱説明書を参照してください。
- Windows NT 4.0/2000/XP の場合、オプション品の設定をするときには、Power User グループメンバーのユーザー、または Administrator でログインしてください。Power User グループの詳細については、Windows NT4.0/2000/XP に付属の説明書を参照してください。

**(例)Windows 95用プリンタドライバの場合**

---

**① 〔プリンタ〕ウィンドウを開いて、XL-C3200のプリンタアイコンを選択する**

---

**② 〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕をクリックし、表示されたダイアログボックスの〔プリンタ構成〕タブをクリックする**

---

**③ 取り付けたオプション品ののチェックボックスをオンにする**

---

**④ 〔OK〕をクリックする**

これで、プリンタドライバで行うオプション品の設定は終了です。

---

この作業が終了すると、本プリンタを使用できる状態になります。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

B5WY-A008-01-00